

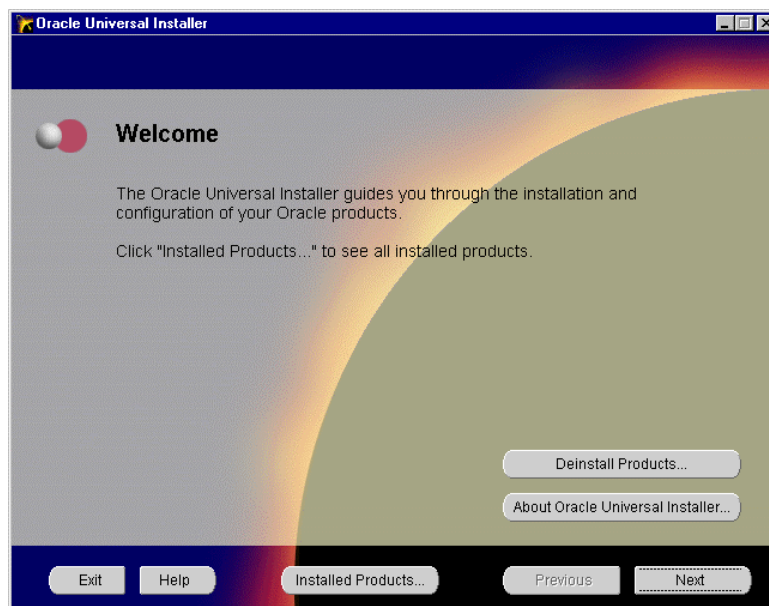
Oracle8i (8.1.7.0.0)のインストール方法

PDS のデータベースサーバとして利用できるように Oracle8i (8.1.7.0.0)をインストールする方法を説明します。なお、Pentium 4 マシンに対してインストールを行う際には、Oracle Universal Installer の不具合に対応するため、別の手順が必要になります。

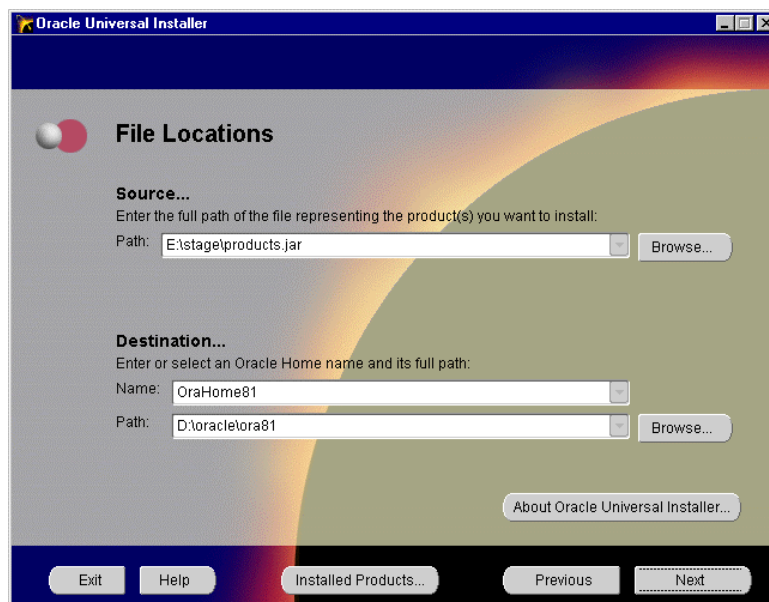
- 1) インストールするマシンの OS が日本語版 Windows NT 4.0 の場合、コントロールパネルの地域で、地域情報として“英語 (U.S.)”を選択しておきます(“システムの標準の地域情報として設定”オプションを選択する必要はありません)。
- 2) CD-ROM ドライブに Oracle8i (Enterprise Edition/Workgroup Server)の CD-ROM を挿入します。以下のような画面が表示されます。Install/Deinstall Products を選択します。



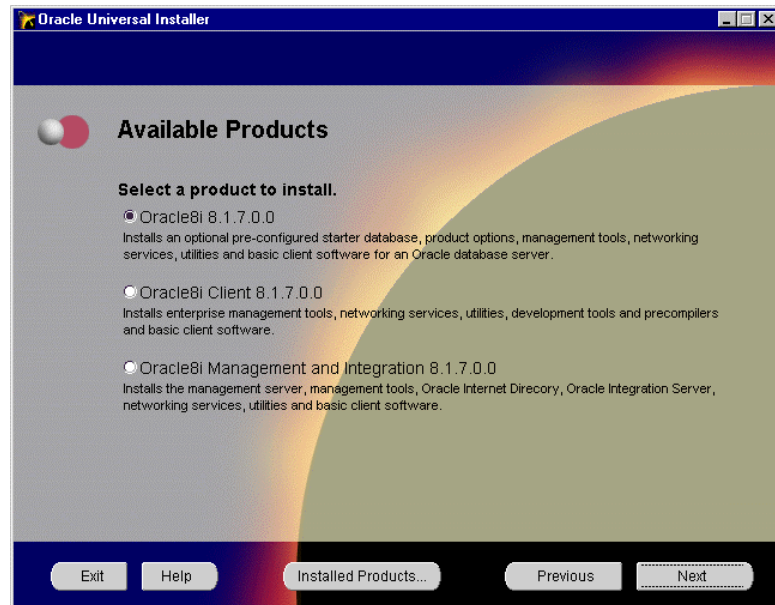
- 3) Oracle Universal Installer が起動されます。Next ボタンを選択します。



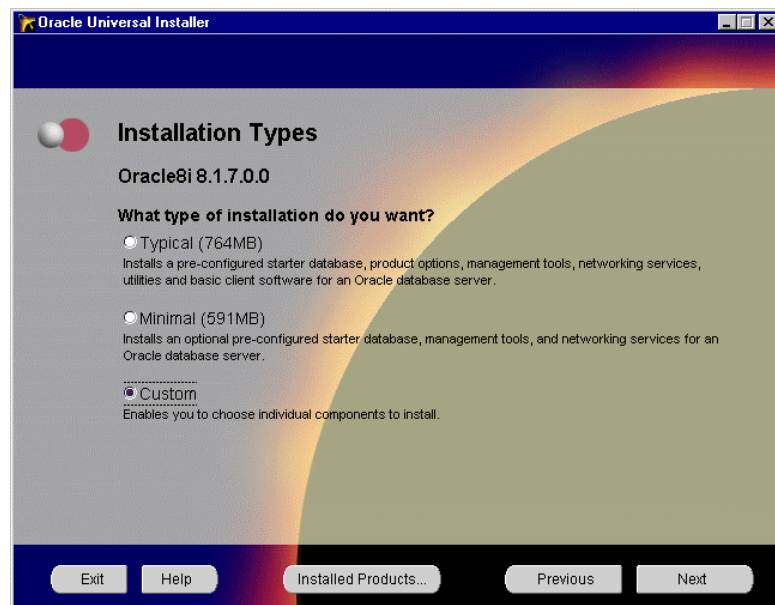
- 4) 以下のような画面が表示されます。Destination...の Path:に対してインストール先のパス名を入力します。なお、データベース(SID)作成の際のデフォルト設定では、このパス以下にデータベースファイルが作成されます。Next ボタンを選択します。



- 5) 以下のような画面が表示されます。データベースサーバとして利用するマシンに対してインストールを行う場合には、Oracle8i 8.1.7.0.0 を選択し、**Next** ボタンを選択します。



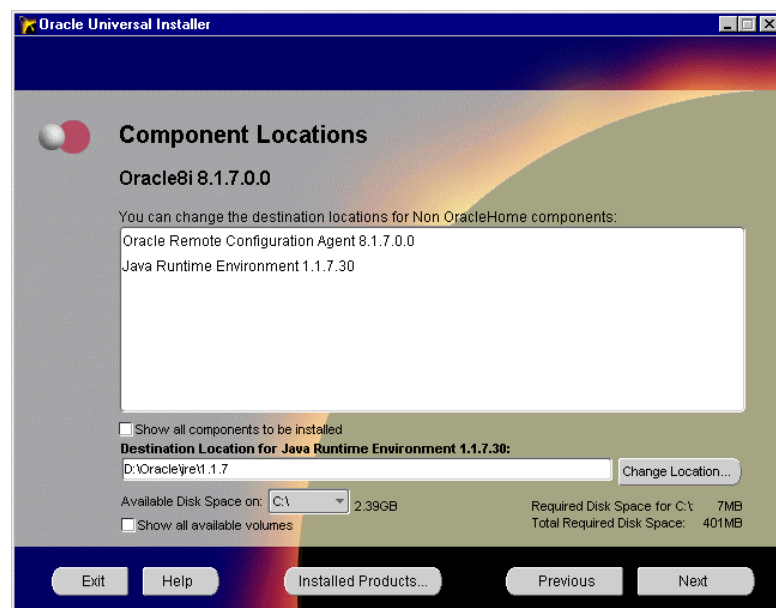
- 6) 以下のような画面が表示されます。Custom を選択し、**Next** ボタンを選択します。



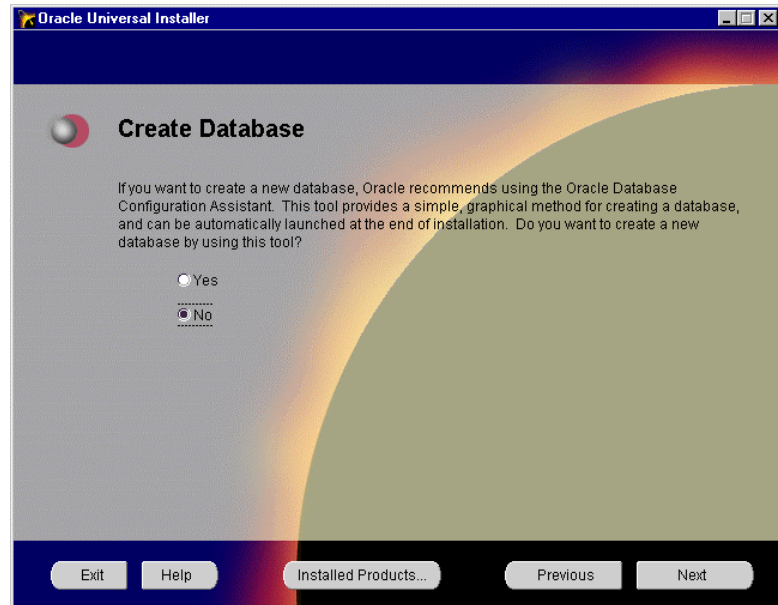
- 7) 以下のような画面が表示されます。インストールを行う製品を選択し、**Next** ボタンを選択します(通常、PDS のデータベースサーバとして利用する場合には、Oracle HTTP Server, Oracle Product Options, Development Tools, Oracle Java Products, Oracle Enterprise Manager Products 等をインストールする必要はありません)。



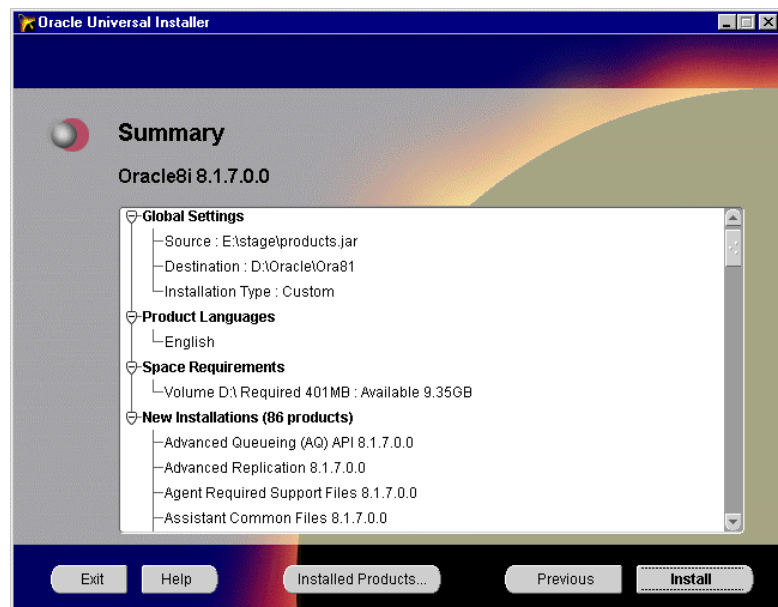
- 8) インストール先を変更できる製品がリストに表示されます。Java Runtime Environment のインストールを行う場合は、インストール先パス名に空白文字が含まれないように、C:\Program Files\Oracle\jre\1.1.7 から D:\Oracle\jre\1.1.7 等へ変更します。**Next** ボタンを選択します。



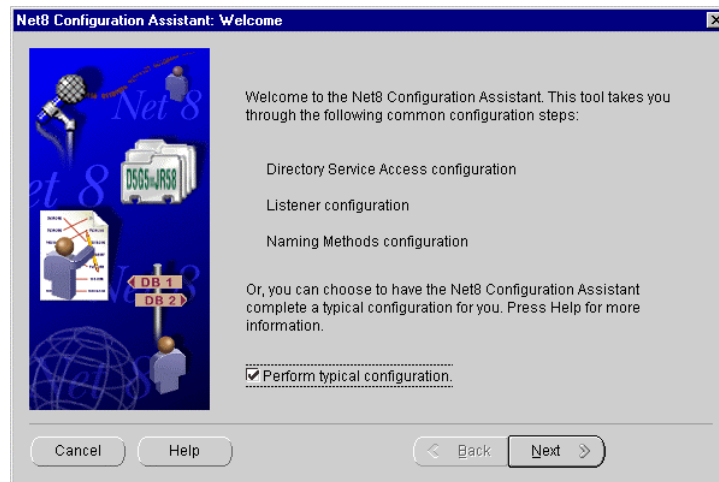
- 9) 以下のような画面が表示されます。No を選択し、**Next** ボタンを選択します。



- 10) 以下のような画面が表示されます。インストールの設定を確認し、**Install** ボタンを選択します。インストールが開始されます。



- 11) Net8 Products のインストールを行った場合は、Net8 Configuration Assistant が起動されます。Perform typical configuration オプションを選択し、**Next** ボタンを選択します。



- 12) 以下のような画面が表示されます。**Exit** ボタンを選択し、インストールを終了します。

